



えともっ子



令和7年 3月17日
3月号

松江市立恵曇小学校
校長 濱岡 宏行

TEL 82-0065 FAX 82-0931 E-mail:etomo-e@city.matsue.ed.jp

いよいよ令和6年度が終わろうとしています。本年度も保護者の皆様と地域の皆様のご協力により教育活動が充実したものになったと喜んでおります。この一年間でそれぞれ心も体も成長したなあと思える子どもたちでした。18日には卒業式が行われ、6年生10名の子どもたちがこの学び舎を巣立っていきます。さみしい半分、新しいステージでの活躍を期待している自分もいます。6年生の子どもたちは、この恵曇で学んだ力を中学校でも十分に発揮してくれると思っています。

また、すぐ4月には5名の新一年生を迎える、令和7年度がスタートします。保護者や地域の皆様には引き続き本校に、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申しあげます。

6年生を送る会

2月21日に、6年生を送る会を実施しました。恵曇っ子の様子をぜひ見ていただきたいと思い、地域・保護者の皆様にも公開させていただきました。子どもたちは、それぞれの学年ですばらしいメッセージを送りました。6年生を送る会は次期リーダーとして、絶対に成功させようと5年生も大活躍しました。各学年の学級便りより一部紹介します。



1年生は、6年生に感謝の気持ちを歌やダンス、劇などにのせて発表しました。全校の前での発表は初めてで、いつも以上に緊張している7人でしたが、最後まで、元気よく発表することができました。「ありがとう」の気持ちが伝わったのではないかと思います。

2年生のクイズをしました。スライドを作るのは、たいへんだったけど、6年生に楽しんでもらえて、作ってよかったです。6年生をおくる会で、きんちょうしたけど、気持ちをつたえられてよかったです。(○○さん)



3・4年生の発表では、ドレミの歌に合わせて、お笑いチーム・縄跳びチーム・クイズチーム・ダンスチームに分かれて発表をしました。



本番の子どもたちの姿は、私の期待を大きく超えてくれました。聞く人の立場に立って話す姿や仕事に全力で取り組む姿、臨機応変に取り組む姿など、色々な姿を見せてくれました。どの姿もかっこよかったです。何よりも、すべてのことに対して、「燃える心」で取り組んでいた姿がかっこよかったです。最高学年に向けて、一歩成長したのではないかと思います。子どもたちも自信を持つことができたのではないかと思います。この経験をぜひ、これからに生かしてほしいですね。(5年生)

6年生が「えともっこカフェ」を開催しました

えともっこカフェ プログラム

1. 始めのあいさつ
2. スライドショー
3. 出し物
4. 手紙わたし
5. 交流タイム
6. 終わりのあいさつ

6年生が7日（金）「えともっこカフェ」を開催させていただきました。これは総合的な学習で、6年間、支えていただいた地域の方々に感謝の気持ちを伝えたいと開催したものです。学校運営協議委員の方々や地域の皆様のご協力により、恵曇集会所で開催することができました。

約30人の方々に集まつていただき、おもてなしをしました。学校運営協議委員会制度が始まり、地域の方々が学校運営に携わつていただけることは本当にありがたいことだと感じて

います。何よりも地域の方々に見守られて育てられていることを実感させていただきました。子どもたちは、自分たちの学んだ足跡を残すかのように、学習の成果やかしま汁を地域の皆様へ披露しました。学校での学習を、このような場で披露できたのは本当によい機会でした。また、5年生も参加して場をなごませてくれました。子どもたちの感想を一部ですが紹介します。

・地域の方は温かいなと思いました。出し物やスライドをしている時によく聞いたり、笑つたりしてくださいました。それと、地域の方同士で仲がよいということが改めて分かりました。これからも、ボランティアなどに参加して、僕も地域の方と関わっていきたいと思いました。

・交流タイムのときに、一言声をかけるだけでも「元気が出た」と感謝の気持ちを伝えてもらって嬉しかったです。何気ない一言でも人を救うことができるのだなと思いました。

・私が思っていた以上にお客さんが来てくださってうれしかったです。地域の方に「中学校でもがんばってね」「今日はありがとう」と声をかけていただき、うれしかったです。

・地域の方に質問をしたら、優しく返してくださったり、ずっと笑顔で話してくださったりしました。地域の方々は、やっぱりすごいなと思いました。

・「いい企画だね」「大きくなったね」「おいしかったよ」などの言葉をかけてくださいました。地域の方とコミュニケーションをとることは大切だと改めて思いました。

・自分の言葉やスライドで地域の方に「ありがとう」を伝えることができました。自分が1・2年生のころの話をして楽しかったです。地域の方から学んだことや、ここまで支えてくださったことをわすれずに、中学校でもがんばりたいです。

全力！努力！チャレンジの

卒業生たち

